教科	地理・歴史	科	科目	歴史総合	学年	第1学年	系列 コース	共通
単位数	2	単位	教科書	現代の歴史総合(81山川 歴総708)				
副教材	明解歴史総合図説シンフォニア(帝国書院)							

1. 学習の到達目標

(1) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史について理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を身に付けるようにする。
(2) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
(3) 近現代の歴史に関する諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする力を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

2. 評価の観点

①知識・技能	歴史的諸事象に関して、世界と日本という相互的視野から、理解しているとともに、人々の歴史的な営みの痕跡や記録である遺物、文書、画像などを活用し、課題を追究したり、解決したりできる。
②思考・判断・表現	近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、歴史的諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現することができる。
③主体的に学習に取り組む態度	歴史的な諸課題について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

3.学習の計画

学期	月	週No.	学習項目(単元)	学習内容
1 学期	4月	1	第1章 結びつく世界と日本の開国	18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現すること。18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解する。帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。
		2	18世紀の東アジアにおける社会と経済	
		3	貿易が結んだ世界と日本	
		4	産業革命	
	5月	5	中国の開港と日本の開国	
		6	第2章 国民国家と明治維新、市民革命	
		7	国民国家とナショナリズム	
		8	明治維新・日本の産業革命	
		9	帝国主義	
	6月	10	変容する東アジアの国際秩序	
		11	日露戦争と東アジアの変動	
		12	第3章 総力戦と社会運動、第一次世界大戦の展開	
		13	ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭	
	7月	14	ヴェルサイユ体制とワシントン体制	
		15	世界経済の変容と日本	
		16	アジアのナショナリズム	
2 学期	8月	17	大衆の政治参加	世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解する。 第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。 第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。
		18	消費社会と大衆文化	
	9月	19	第4章 政治危機と第2次世界大戦	
		20	世界恐慌の時代	
		21	ファシズムの伸長と共産主義	
		22	日中戦争への道	
	10月	23	第二次世界大戦の展開	
		24	第二次世界大戦下の社会	
		25	国際連合と国際経済体制	
		26	占領と戦後改革	
		27	冷戦の始まりと東アジア諸国の動向	
	11月	28	日本の独立と日米安全保障条約	
		29	冷戦下の地域紛争と脱植民地化	
		30	東西両陣営の動向と1960年代の社会	
31		軍拡競争から緊張緩和へ		
12月	32	地域連携の形成と展開		
	33	計画経済とその波及		
	34			
3 学期	1月	35	日本の高度経済成長	冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現すること。
		36	アジアのなかの戦後日本	
		37	石油危機・アジア諸地域の経済発展	
		38	市場開放と経済の自由化	
	2月	39	情報技術革命とグローバリゼーション	
		40	冷戦の終結とソ連の崩壊	
		41	現代の東アジア	
	3月	42	東南アジア・アフリカ・ラテンアメリカの民主化	
		43	地域統合の拡大と変容	
		44	地域紛争と国際社会・現代と私たち	
		45		

4. 評価の方法

総合的に定期考査の得点に加えて、課題学習、授業態度、小テスト等日々の学習活動について、各評価の観点（①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度）ごとに評価する。学年末の成績は、各学期の成績をもとに算出する。